

# 洛南高等学校附属中学校合格

杉本 純也 くん

(所属 神戸元町教室)

テーマ 浜学園での自分自身の歩み

洛南高等学校附属中学校合格  
六甲学院中学校合格  
白陵中学校合格  
愛光中学校合格  
岡山白陵中学校合格  
函館ラ・サール中学校合格

## 「勇往邁進」

(はじめに) 僕の幼い頃からの将来の夢は医者になることです。その夢を叶えるためにはまず中学受験をすることと思い、当時受験には反対だった父を説得し浜学園に入塾しました。

(小 4) 僕の家は淡路島にあり、バス、電車を乗り継いで平日夕方に通塾するのは困難だし、また習い事をたくさんしていたこともあり、土曜スクール(土曜マスターコース)に通うことにしました。塾の友達はみなそれぞれ同じ中学受験という目標をもって頑張っている人達ばかりで、学校の友達とは違った楽しさがあり、毎週通塾するのが楽しみでした。

(小 5) 神戸元町教室には土曜スクールがないので平常授業(マスターコース)を受けることになり、週3日の通塾になりました。土曜スクールとは異なり、平常では復習テストの相互採点があり、その授業中にベストが発表されるので、僕は毎回絶対にベストに入るぞ!という意気込みでテストに臨みました。この復習テストでベスト(1位)をとるぞ、という強い気持ちで毎回テストを受けるという姿勢は、この後何度となく学習する単元の学習にも良い影響を与えたのではないかと思います。

(小 6) 夏休み頃から、それまで続けていた4つの習い事の内スイミング以外を一旦休止して、勉強に集中することにしました。よく学園長先生が夏休みが受験の天王山と言われていますが、この時期、早朝特訓、夏期講習、平常授業とすべてこなし、さらに密度の濃い日曜志望校別特訓も加わり、大変な中にも充実感がわきました。

そしていよいよ受験の年を迎えました。灘中プレは合格。そして前受験3校で受験の雰囲気をつかみました。しかし、本番の灘中入試前日から体調が悪くなり、精神的にも不安定になってしまいました。前日、1日目のおやすみコールでたくさんの先生方に励ましの言葉をもらい受験に臨みましたが、結果は不合格。翌日からの洛南高等学校附属中学、六甲学院中学、白陵中学の入試は灘の結果を引きずらないように頑張りました。洛南高等学校附属中学では浜学園で培った実力を試すべく併願のままで結果を待ち、無事合格することが出来ました。

ちよっぴり辛い結果になりましたが、これまで支えて下さった、先生方、事務の方々、そして両親に本当に感謝しています。ありがとうございました。

これからも、勇往邁進!